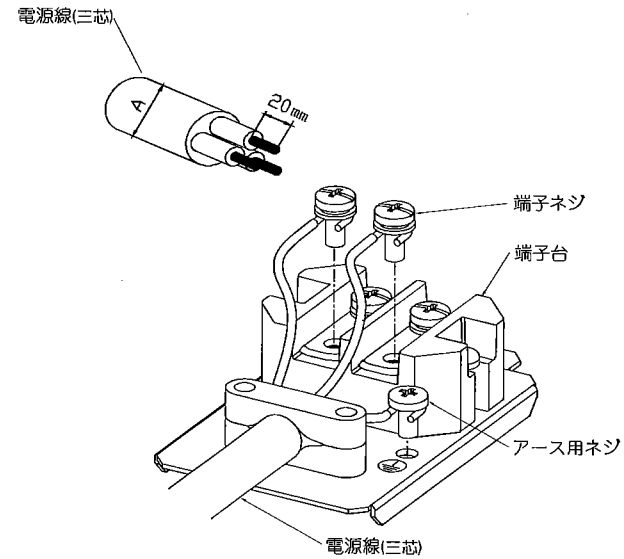


8. 電源線を端子台に接続してください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

- 電線はストリップゲージ長20mmにむいてください。
- 電源線を端子ネジに巻き付けてから、端子台に確実に締めてください。
- アース線はD種接地工事を行ってください。

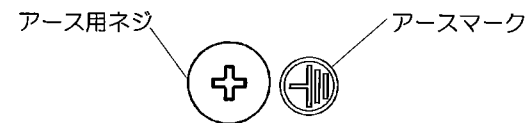
※100Vで使用の場合でもD種接地工事を行ってください。
 ※電源線は三芯仕様、外径（下図A寸法）はφ8～φ12mm、芯線は1.25mm²以上のキャブタイヤケーブルを使用してください。



- △接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
- △電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。
- △指定の電源線を必ず使用してください。漏電・感電・器具故障の原因となります。

※D種接地工事について

アースマーク（下図）が付けられている箇所のネジにアース線をつないでください。



9. カバーを結線ボックスに合わせて、カバー取付ネジ(4個)で確実に取付けてください。

- △取付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

10. 水抜き用ネジ(1個)、ワッシャ(1枚)、ゴムワッシャ(1枚)を取外して水抜き穴を確保してください。

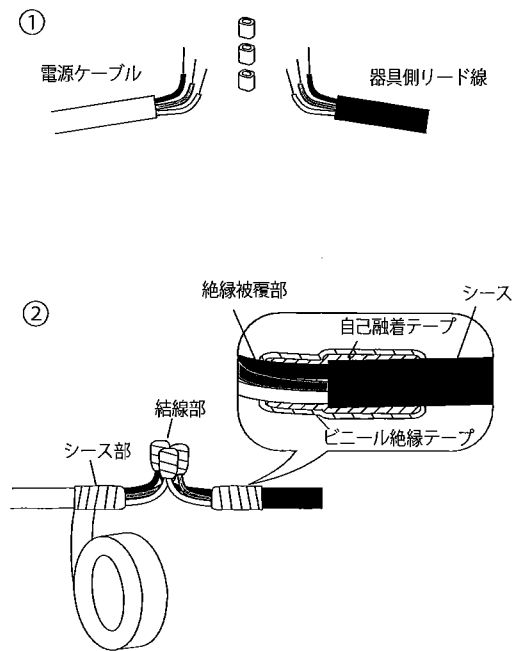
※水抜き穴は、本体に9ヶ所あります。取付方向や照射位置の調節角度より、最下部の水抜き穴を確保してください。

- △水抜き穴を必ず確保してください。漏電・感電・器具故障の原因になります。

◆結線時のご注意

1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。
 結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。

※結線部に直接水がかからないように防水BOX内での施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。

- △接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

◆照射角度の調整

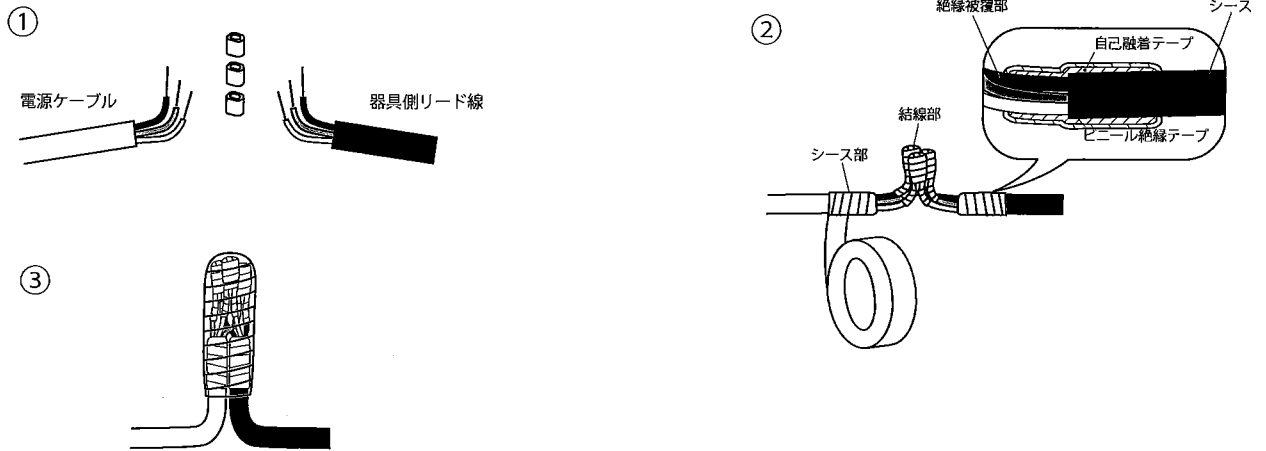
1. 照射角度の調整は、表面図の取っ手部で器具をしっかりと支えながらハンドル（2箇所）を緩め、ゆっくりと器具の照射角度に合わせてください。しっかりと支えていない場合、器具が急に回転し破損、けがの原因となります。
2. 照射角度調整後、ハンドル（2箇所）をしっかりと締付けてください。

- △締付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。

3. 照準器による照射角度の調整をご希望の場合は、最寄の弊社営業所までお問い合わせください。

◆ 結線時のご注意

1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。※結線部に直接水がかからないように防水BOX内での施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



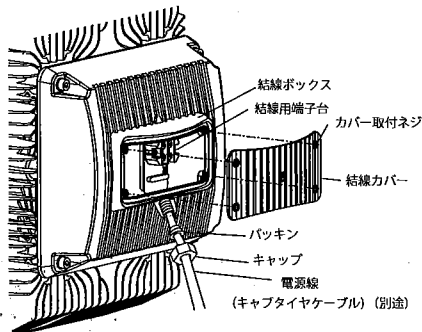
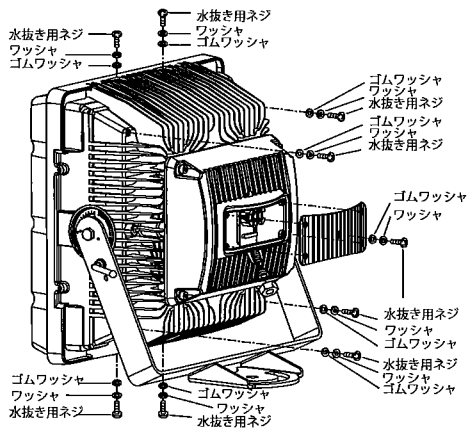
- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。
- 電源ケーブルからの水の侵入を防ぐため、絶縁被覆部が見えなくなるまでテープで防水処理をしてください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

2. 水抜き用ネジ（1個）、ワッシャ（1枚）、ゴムワッシャ（1枚）を取外して水抜き穴を確保してください。

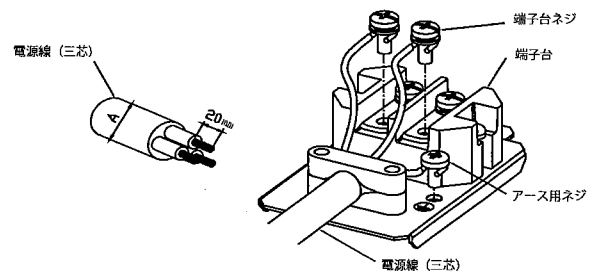
※水抜き穴は本体に9ヶ所あります。取付方向や照射位置の調節角度より、最下部の水抜き穴を確保してください。



⚠ 水抜き穴を必ず確保してください。漏電・感電・器具故障の原因になります。

3. 電源線を端子台に接続してください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

- 電線はストリップゲージ長20mmにむいてください。
- 電源線を端子ネジに巻き付けてから、端子台に確実に締めてください。
- アース線はD種接地工事を行ってください。
※電源線は三芯仕様、外径（下図A寸法）はφ8～φ12mm、芯線は1.25mm以上のキャブタイヤケーブルを使用してください。



⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。